



## 夏休みこそ探究のすすめ

副校長 池浦 也寸志

新しい学習指導要領では、高等学校に「総合的な探究の学習」という時間が特設されました。これまで小・中・高等学校において、「総合的な学習の時間」として行われてきた教育活動が高等学校では、探究活動を重視するものに置き換わっています。時代の流れから、まずは、高等学校で、次の改定では、小中学校にも降りてくることが予想されます。

これまで、日本の教育は経済とも連動しながら社会に出て生きて働く力をつけることを目的としてきました。その際の答えは、欧米社会にあったのです。昔よく言われたこと、アメリカで起きたことは、10年後、日本でも起こると言われました。しかし、時代の変化が急で、先行き不透明な時代が予想され、今ある仕事の6割は、コンピュータに取って代わられる時代が予想されます。アメリカも日本もオンタイムで同時に変化しつつあります。これから子どもたちが生きていく社会は、問題も答えもある(模範解答がある)時代から問題はあるが答えはない(哲学)時代、さらには、問題も答えもない時代へと突入していきます。このような時代を生き抜くためには、抽象化して物事を捉える力を身に付ける必要があります。たくさんの知識を蓄えることも必要ですが、ものの見方や考え方を身に付け「おおよそこんなことだ。」と目利きができることと予測不可能な出来事に対しても対応が可能になるのです。なぜなら、物事を抽象化して捉えることができるようになると懐が広くなり、臨機応変に対応することが可能となるからです。このような時代に創造的で抽象化することのできる力は、「探究」という物事の本質や意義を探る活動を通して培うことができます。まさしく、高等学校から探究の学習が導入されたのもここに解があるようです。

さて、本校でもこれまでにあった「総合的な学習の時間」を思い切って、高等学校とまではいきませんが探究的な学習活動に換えてあります。この学習では、学年や担任、教室、時間・時期(10月始まり)の枠を取り払い、子どもたちは、自由に課題を決めて取り組んでいます。夏休みにこれまで取り組んできた自由研究が枠を拡大して学校の教育活動の中に入ってきたと考えていただけるとわかりやすいと考えます。例えば、サッカーにおいて「バナナシュートができるようになりたい。」と考えた子は、理論上でボールの回転やスピードを学び、実技の中でICTを駆使して、自分のフォームやボールを蹴る位置などを科学的に探究していくこととなります。また、古代生物を調べたり、海上自衛官のことを調べたりする子もいます。先日、テレビや新聞のニュースで扱われた国体準備室の方々の取組を取材した本校児童の様子もこの活動の延長線上にあります。約一年間取り組んできたことで、課題も見えてきました。あまりにもパソコンで情報が集めることができるため、パソコン上で探究が完結している子も多く見受けられます。やはり、小学生ですから自らの手で調べたり、確かめたり、製作したりする体験が入らないと表面上の理解に終わってしまうようです。そこで、この夏休み期間は、これまで調べてきたことを実践する良い機会と捉えています。ぜひ、子どもさんの探究する芽が育っていくよう応援してください。



### 【夏季休業中の主な行事】

- ◆図書室開放日 7月21・22・25・26・27・28・29, 8月1日 (9:30~11:00, 13:30~15:00)
- ◆社会科自由研究相談日 7月28日 (9:00~11:00)
- ◆理科自由研究相談日 7月22日, 25日 (9:30~11:30, 13:30~15:00)



## 自己有用感を高める教育活動の推進 ~「美しさ」をキーワードとして~

### 自分や友達の「人権」について考えたよ ~にこにこ月間の取組~

5月25日から6月25日は、「いじめ防止啓発強調月間(にこにこ月間)」でした。この月間は、「いじめ問題について正しく知ること」「いじめが起こらないようにしていこう」という思いを高めていくことが大きなねらいです。本校においても、この期間中、「人権教室」「教育相談」「学級活動」「学級力チェックシート」等の様々な取組を行いました。にこにこ月間を振り返った「あしあと」に以下のような記述がありました。



【人権教室で、人権擁護員の方の話を聞く複式Ⅲ組の児童の姿】

○ わたしにも友達にも人権があります。みんなが楽しく、気持ちよく生活していくために、自分も友達のことを大切にしていきたいです。【高学年児童】

自分の言動や所作が周りの友達や人を幸せな気持ちにさせたり、不快な気持ちにさせてしまったりすることがあることに気付いていることが分かります。このような気づきが具体的な姿となって表れた場面に出会いました。ある日の理科の授業において、子どもたちの前で演示実験をした際、前方にいる子どもたちが床に膝をつけてしゃがみ、実験の様子を後方にいる友達にも見えるようにしたのです。床に膝をつけてしゃがむといった自然な立ち振る舞いは、周りの友達のことを考えて行動するという、まさに美しい所作であると考えます。また、「〇〇さんの予想は、とてもいいと思います。〇〇さんの予想とは違いますが、ぼくは〜だと思います。」と発言する場面もありました。友達の考えを認めながら、自分の考えを発言するといった相手を尊重する姿も、美しい所作であると考えます。にこにこ月間中の様々な取組が、子どもたちの人権意識の高め、実践する態度へとつながっています。

上記のような美しい所作こそが、本校が目指す子どもたちの姿であり、このような姿をたくさん見付け、価値付けていくことでさらに子どもたちの自己有用感を高めていきたいと思っています。

### 【8月の主な行事】

- 20日(土) PTA美化作業
- 22日(月) 前期後半開始 図書返却(~24日)
- 25日(木) 選書会(~31日)
- 29日(月) 参加観察実習前半(~30日) にこにこ週間(~9/2)
- 30日(火) 大運動会係内打合せ

### 【9月の主な行事】

- 1日(木) 後期教科用教科書配付 PTA理事会
- 6日(火) 大運動会係間連携
- 8日(木) 第1・2免許実習(~30日)
- 9日(金) 前期後半図書貸出開始
- 13日(火) 大運動会予行
- 14日(水) 大運動会予行予備日
- 16日(金) 大運動会会場準備
- 17日(土) 大運動会
- 18日(日) 大運動会予備日
- 20日(火) 大運動会振替休日
- 28日(水) 参加観察実習後半

※ 新型コロナウイルス感染症の患者数によって行事の中止・変更の可能性があります。